

白杵市 施策評価シート
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	市民課	寺本 政浩	1190

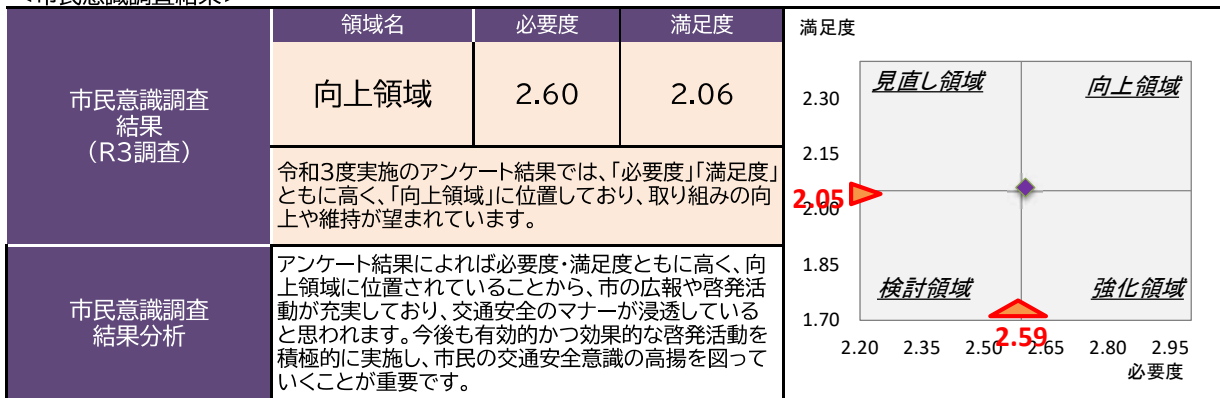
コード	VII-21-51	施策名	交通安全対策の推進
施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える		
まちづくりの方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を図ります。正しい交通マナーを守れるよう交通安全教育や啓発活動に取り組み、安心して生活できる交通安全対策や環境整備をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(春・夏・秋・冬)実施される交通安全運動及び毎月1日の「交通マナーアップの日」、20日の「県民交通安全日」による街頭啓発及び年間通しての広報・啓発活動に取り組みます。 ・高齢者を対象とした参加型交通安全教室の実施や警察、交通安全協会等と連携した交通安全講習などを実施します。 ・交通安全施設(カーブミラー)の整備や維持修繕管理を行います。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
○	市民1,000人あたり市内交通事故件数	人身事故件数(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
			実績	2.67	1.78	2.04			
			達成率	%	112.4%	98.0%			
○	市内で発生した交通事故の内、65歳以上の歩行者や運転者が関係する交通事故件数	人身事故件数(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	50	50	50	45	45	
			実績	59	31	27			
			達成率	%	161.3%	185.2%			
○	運転免許証の自主返納支援制度申請件数(年間)	高齢及び病高等で運転免許証を返納した件数(年間)	目標	250	250	250	250	250	
			実績	275	226	230			
			達成率	%	90.4%	92.0%			
○	市及び交通安全関係団体が実施する交通安全講習などの市民参加率	参加者の割合(人口1,000人あたり)	目標	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
			実績	2.0	2.5				
			達成率	%	40.0%	25.0%			

指標の分析	<p>昨年一年間の白杵管内における交通事故件数の内、人身事故件数は75件で、その内高齢者が関係する事故件数は27件(36.0%)となっています。一昨年に比べて事故件数は増えたものの、高齢者が関係する事故は減少しております。しかしながら、高齢者による事故は依然高い比率を占めている状況です。また、交通安全における講習・講座については、白杵津久見警察署及び交通安全協会等の協力のもとに実施していますが、昨年同様今年度もコロナ感染防止対策上、地区等に対して接触を図ることができず、講習や講座があまり開催できていないのが現状です。今後コロナが落ち付くようであれば、市内各地区及び各関係機関等との連携を図り交通弱者である高齢者等の事故防止・抑止に繋がる交通安全講話等の実施及び効果的な啓発活動に取り組んでいくことが重要です。</p>
-------	---

<市民意識調査結果>



<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	<p>交通事故防止を図るには、日頃からの継続した地道な啓発活動が必要であると考えています。本市では、高齢者が関係する交通事故件数は減少傾向にありますが、高齢化率も高いため、必然的に高齢者の関係する事故割合は他の年代より高い状況です。注意喚起を進めるため、高齢者に特化した効果的な啓発を行う必要があると考えます。また、高齢者を悲惨な交通事故から守ることを目的として事業開始した「運転免許証自主返納支援制度」についても警察署との連携を図り、市報やCATV・交通安全講座等を活用して周知を図っていくことが重要です。カーブミラー等安全施設についてはあくまでも補助的なもので、運転手自身の安全運転義務の遵守が重要であることも周知していきます。</p>
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1	カーブミラー修繕事業	市民課		1,701	1,858	1,950	継続		VII-21-51
2	交通安全関係団体補助事業	市民課		2,430	2,430	2,430	継続		VII-21-51
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				4,131	4,288	4,380			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	本市においては、啓発の効果により、高齢者の事故件数は減少傾向ではありますが、高齢化率が高いことから、高齢者が関係する事故率は高い状況となっています。今後も引き続き高齢者を主とした交通安全教室・講座等の開催に向け、市内各地区(区長)及び老人クラブ等と接触を図っていくことが重要です。また、夜間歩行時の交通事故防止となる反射材の着用、運転免許証自主返納支援制度の周知、横断歩道でのマナーアップの推進等、交通事故防止に繋がる啓発も積極的にを行い、「自分の命は自分で守る」という交通安全に対する意識の高揚を図っていくことが重要です。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	令和4年度実施	内部評価	指標の実績の推移に、一部未達成のものもありますが、新型コロナウイルス等による影響などによるもので、事業としては、概ね順調に推移しています。また、市民意識調査の結果も向上領域となっています。現状の取り組みを継続していくこととしました。
------	---------	------	--

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
維持	指標の分析で、高齢者の事件数が減っているとあるが、コロナ禍で人の移動自体減っている影響もあり得るので、その点も考慮が必要。免許返納を推進する場合は、受け皿としての公共交通の充実が必要となるため、積極的に検討、取り組み、モデル的な市となってほしい。

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

交通安全対策を推進するためには、交通安全設備の適切な設置と啓発活動等を通じて市民意識向上を進めるとともに、警察や地域、団体などと連携を図りながら適切に対応していきたい。高齢者関連の事故件数を減らすための取組も引き続き行っていく。